

1. 発行者の略称(出版社名)
2 東書
2. 調査研究の経過
7月 1日 第1回竹田地区教科用図書選定委員会 7月 18日 第2回竹田地区教科用図書選定委員会 月 日
3. 調査研究の観点
【全教科(種目)共通観点】 1. 単元・題材の構成及び内容の取扱い (1) 学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。 (2) 単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。 (3) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるよう、どのように示されているか。 2. 文章表現、資料等 (1) 文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。 (2) 資料・手引き等が有効に使われ、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。 3. 挿絵・図表及び紙質・造本 (1) 挿絵・図表・統計等が、どのように示されているか。 (2) 紙質・造本については、どのように示されているか。 【各教科(種目)独自観点】 ○学習指導要領に示された目標に基づいた各教科(種目)独自の観点を設定する。 ※各教科(種目)独自観点は、次回選定委員会までに設定し、調査研究報告時に説明する。
4. 選定委員会(専門研究員の調査・研究)についての意見、感想ほか

教科用図書 種目(技術) 教科書会社 No(2)

発行者の番号・略称		番号	2		略称	東書	
使用学年		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
教科書番号		702	702	702			
項 目		所 見					
教 科 共 通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	○総ページ数 291 ページに対して【材料と加工の技術】が 21% の 62 ページ、【生物育成の技術】が 16% の 48 ページ、【エネルギー変換の技術】が 21% の 62 ページ、【情報の技術】が 23% の 68 ページとバランス良く取り扱われている。 ○生徒にわかりやすく、教師には指導しやすいデザインに構成されている。そのため、学習の流れが見やすく、学習意欲や理解度の向上を図っている。					
	2. 文章表現、 資料	○同じテーマから発想される複数の問題解決例が掲載されている。 ○自由な発想で主体的に問題解決に取り組めるよう工夫されている。					
	3. 挿絵・図表	○デジタル教科書において、特別支援教育の観点からも文字に関しては総ルビや紙面拡大など配慮されている。 ○全ての生徒にとって認識がしやすいように、文字の書体 (UD フォント)、図やイラストのレイアウトなどにも配慮されている。					
	4. 紙質・造本	○3 年間の使用に充分耐えうるよう表紙は汚れにくく、強度を高めるための加工が施されている。					
教 科 独 自	5.	○材料と加工の技術において、副題材の製作を通して、製作に必要な知識及び技能を習得させ自らの問題解決に主体的に取り組むように工夫されている。 ○「栽培カレンダー」を取り上げ、地域の気候や土壌に合わせて栽培することの大切さが示されている。 ○「双方向性のあるコンテンツのプログラミング」の問題解決例は、社会で活用されている技術をなぞらえた基本題材と参考題材を取り上げ各学校の授業時数などに応じて題材を選べるように配慮し、10 題材を取り上げている。					
6. その他 (地域の特殊性についての配慮)		○豊富な問題解決例を提示することで、地域や学校の実態に応じて、選択して指導できるように配慮されている。					
7. まとめ (特色及び総合所見)		○専門の教員だけでなく、教科専門外の教員にも扱いやすい教科書になっている。 ○外国につながるの生徒の学びをサポートするため、Google 翻訳を利用可能になっている。 ○タブレットを利用した二次元コンテンツが充実している。					

教科用図書 種目(技術) 教科書会社 No(6)

発行者の番号・略称		番号	6			略称	教図
使用学年		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
教科書番号		703・704	703・704	703・704			
項 目		所 見					
教 科 共 通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	○総ページ数 256 ページに対して【材料と加工の技術】が 22% の 56 ページ、【生物育成の技術】が 16% の 42 ページ、【エネルギー変換の技術】が 23% の 60 ページ、【情報の技術】が 29% の 74 ページとバランス良く取り扱われている。 ○『見つける』の生徒同士、生徒と教師との対話によって、技術への関心を喚起して、生徒が自覚的に技術の見方、考え方を働かせるようにしている。					
	2. 文章表現、 資料	○『見つける・学ぶ・ふり返る』を基本配列として、学習意欲の喚起、自主的な学習、学習理解の確認が構造的にできるように構成されている。					
	3. 挿絵・図表	○学習内容の精選と重点化が図られ、本文の理解を助けるために必要な助けるために必要な写真・イラスト・図表などが適切な箇所に分配して構成されている。 ○カラーバリアフリーの観点から、色覚に関する専門家の校閲を受けている。					
	4. 紙質・造本	○ページ数が他社より若干少なめなのだが、教科書自体は他社のものより厚い。紙の材質に違いと思われるが、比較すると重く感じる。					
教 科 独 自	5.	○材料と加工の技術では、木造建築や木材の伝統的な接合技術の例などを紹介し、日本の伝統・文化を継承していくことの大切さを気づかせるようにしている。 ○生物育成では農場や林業の施設の見学について学習できるようにし、職業観、労働観の育成が目指されている。 ○情報の技術では情報の流れを示す図やプログラム全体の動作をまとめた図の書き方を詳しく取り上げている。					
6. その他 (地域の特殊性についての配慮)		○教科書内の各内容はそれぞれ情報量が多く、資料も多い。その分、どの教師が指導する場合にも使いやすいかという点では、情報過多を感じる。					
7. まとめ (特色及び総合所見)		○タブレットを利用した QR コンテンツが充実している。 ○基礎技能に特化したサブブックが分冊構成になっている。					

教科用図書 種目(技術) 教科書会社 No(9)

発行者の番号・略称		番号	9		略称	開隆堂	
使用学年		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
教科書番号		702	702	702			
項 目		所 見					
教科 共通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<p>○総ページ数301ページに対して【材料と加工の技術】が27%の80ページ、【生物育成の技術】が17%の52ページ、【エネルギー変換の技術】が20%の54ページ、【情報の技術】が24%の72ページとバランス良く取り扱われている。</p> <p>○各内容の適切な箇所にQRマークを記載することによって、個別最適な学びが実現できるように工夫されている。</p>					
	2. 文章表現、 資料	<p>○生徒の生活経験や発達段階及び授業時数などを考慮して、学習範囲や程度が定められており、各内容の系統性も適切である。</p> <p>○可読性の高いUDフォントを使用していて、読みやすく、内容に応じて適切な大きさが使われており、生徒の発達段階を配慮したものとなっている。</p> <p>○言語活動が充実するように、実習例における設計や計画などは、項目ごとにまとめられながら文章によって表現できるようになっている。</p>					
	3. 挿絵・図表	<p>○写真や図版は分かりやすく、必要な箇所では、生徒が自分で作業しているように見えるアングルで撮影された写真が使われているなど理解を促すための工夫がされている。</p>					
	4. 紙質・造本	<p>○用紙は薄くて丈夫な上に、軽量化された用紙が使用されており、生徒の負担にも配慮されている。</p>					
教科 独自	5.	<p>○材料と加工の技術について調べる活動などの事例数が他社に比べて多い。</p> <p>○生物育成の育成計画について制約条件の整理や育成計画表の作成などの活動が取り入れられている。</p> <p>○情報の技術の実習例として、AIを活用する内容が数点取り上げられており、生成AIを含め、活用法について問題提起することで生徒が関わり方を考えることができるように配慮されている。</p>					
6. その他 (地域の特殊性についての配慮)		<p>○生徒の目が地域に向くように、地域の技術について取り上げた写真や話題などを豊富に取り上げている。</p>					
7. まとめ (特色及び総合所見)		<p>○各内容で共通して、社会における技術に気づき、基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、社会や環境と技術の関わりについて理解を深められるように工夫されている。</p> <p>○構成や図版の工夫により、どの教員でも指導しやすいように配慮されている。</p>					